

十戒について

まず、十戒を確認しましょう。

わたしはあなたの神、主であって、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出した者である。

- 1.あなたは、わたしのほかになにものをも神としてはならない。
- 2.あなたは、自分のためにきざんだ像をつくってはならない。
- 3.あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
- 4.安息日をおぼえて、これを聖とせよ。
- 5.あなたの父と母を敬え。
- 6.あなたは殺してはならない。
- 7.あなたは、姦淫してはならない。
- 8.あなたは、盗んではならない。
- 9.あなたは、隣人について偽証してはならない。
- 10.あなたは、隣人の家をむさぼってはならない。

(こどもさんびか所収)

以上が、神様がモーセを通して与えられた十の戒めです。わたしたちは、主の日ごとの礼拝で十戒を唱えます。罪赦された者として私たちが守るべき神様の戒めです。

十戒は、モーセに率いられたイスラエルの民、神の民がエジプトから脱出し、約束の地に向かう途中のシナイ山で与えられたものでした。エジプトから脱出した神の民の歩みは荒野の旅であり、困難を極めました。民の中からは、不平不満が続出し、辛うじて神様の恵みによって支えられていました。そのような中であって、神様が与えてくださった、神の民を導く指針としての十戒でした。しかし、十戒を神様からいただく前にイスラエルの民は金の子牛をつくり、エジプトから導き出した神々として拝んでしまいました。神様が最も嫌われ、怒られることをしたのです。金の子牛を礼拝した者は、すぐに滅ぼされました。その数、三千人とも言われます。神様の厳しさ、ただしさがあらわされました。

わたしたちも、イエス様が十字架にかかって下さらなければ、神様の怒りと罰が下ったことでしょう。イエス様が、私たちの罪と罰を十字架にかかることによって、滅ぼしてくださったのです。十戒をほとんど守れないわたしたちを、イエス様のゆえに守ったとみなして下さっていることは普通では考えられないくらい喜ばしいことです。

十戒を含んだ律法の要約をイエス様は、「心をつくし、精神をつくし、思いをつくし、力をつくして、あなたの神である主を愛しなさい。これが、もっとも重要な第一のおきてである。第二もこれと同じように重要である。隣人を自分のように愛しなさい。律法と預言者はこの二つにもとづいている。」と言われました。

神を愛し、隣人を愛することこそ、神様が、イエス様にあってわたしたちにのぞんでおられることなのです。十戒をわたしたちが主の日ごとの礼拝で唱えるとき、神様の大きい恵みをおぼえたいものです。